

Q4.

吐き気が強くて、薬を飲む気になりません。いい方法はないですか。

A4.

お薬による胃への直接の刺激を避けるために、牛乳又はココアミルクとともに服用すると軽減することがあります。また、多少なりとも脂肪分を含む食事をとると、直接の刺激が減って、比較的楽にお飲みいただけることがあるようです。

Q5.

薬を飲み始めました。薬を飲んでも気分が悪くなるだけで続けられません。どうしたらよいのですか。

A5.

服用を続けていると徐々に薬に慣れてきて、吐き気がおさまる人もいます。朝・夕の食後に牛乳又はココアミルクとともに服用すると比較的軽減しますが、それでも我慢できない場合は主治医にご相談ください。

Q6.

朝の分を飲み忘れまして、どうすればいいでしょうか。

A6.

朝の分の飲み忘れを思い出したら、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、夕方に飲む時間が近い場合は飲まないで、その後は指示された時間に飲んでください。絶対に、朝・夕の2回分を一度に飲んではいけません。

Q7.

朝夕で飲んでいきます。夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいでしょうか。

A7.

その日の夕の分は飲まずに、翌日の朝の分からいつも通りお飲み下さい。

Q8.

食事の影響がありますか。ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A8.

この薬は食後に服用しないと吸収が悪いので「食後服用」としてしています。一緒に食べてはいけない食べ物は特にありません。飲み物では100%のグレープフルーツジュースが吸収に影響を及ぼすとの報告が類薬にありますので避けてください。カレトラでのデータはありません。また、セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort) 含有健康食品との併用にご注意下さい。その他の健康食品との相互作用については、医師・薬剤師にご相談下さい。

Q9.

お茶と一緒に飲んでもよいですか。また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A9.

お茶と一緒に飲んでいただいてもかまいません。飲み物として、100%のグレープフルーツジュースは、類薬で吸収に影響があるとの報告がありますので避けて下さい。炭酸飲料は薬の吸収には問題ありませんが、後味がよくないため避けていただいた方が無難でしょう。

Q10.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか。

A10.

もどした直後の服用は避けましょう。気分がもどったら、服用する努力をして下さい。制吐作用のある薬剤の併用で吐き気がましになることもあります。吐き気がひどいときは主治医にご相談下さい。

Q11.

グレープフルーツジュースと一緒に飲まないように言われましたが、薬を飲む前や飲んだ後ならいいですか。また、一緒に飲んではいけない飲み物があれば教えてください。

A11.

グレープフルーツに多く含まれる物質が、類薬であるSQVの代謝酵素の活性を阻害するため、SQVの血中濃度が約1.5倍高くなりますが、有効率を大幅に上昇させるとか、副作用の発現を大幅に上昇させるものではなく、服用上特に問題はないと思われまます。本薬も念のため100%ジュースでの服用は、避けた方が望ましいと思われまます。グレープフルーツジュース以外の飲み物であれば大丈夫でしょう。

Q12.

食後薬を飲んだあとにお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか。

A12.

とくに影響はありません。

Q13.

カレトラにはアルコールが入っているそうですね。では、お酒と一緒に飲んでもいいですか。

A13.

カレトラカプセルにはアルコールは含まれていません。カレトラリキッドにはアルコールが含まれています。カレトラリキッドにアルコールが入っているのは、薬の成分がアルコールに溶けやすからであって、お酒と一緒に飲んでも薬の効き目を高める効果はありませんし、低下させる効果もありませんが、原則として、薬をお酒で服用することは控えてください。

Q14.

食事がとれないんですが、牛乳だけで薬を飲んでも差し支えありませんか。

A14.

この薬は食後に服用しないと吸収がわるくなること、脂肪摂取が多いと吸収が良いので「食後服用」としています。

脂肪量が中等度の食事（500～682Kcal, 22.7～25.1%は脂肪由来）の後に、本剤3カプセルを単回投与した場合、空腹時に比べロピナビルのAUC（血中薬物濃度下面積）が48%, Cmax（最高血中濃度）が23%上昇したとの報告があります。また、高脂肪食（872Kcal, 55.8%が脂肪由来）の摂取後に本剤を投与すると、空腹時に比べロピナビルのAUCが97%, Cmaxが43%上昇したとの報告があります。

この結果から本剤は食後に服用していただくことが適切であるとされています。しかし、吸収を良くしようと、たくさん食べれば良いという訳ではありません。牛乳だけで済ませた場合の吸収についてのデータは、現在のところありません。食事のバランスを考えて、軽くても食事はきちんと取りましょう。

Q15.

カレトラソフトカプセルを空腹時服用するとどうなるのですか。また、どのくらいの食事をとる必要があるのか、その目安を教えてください。

A15.

空腹時の服用は、食後の服用に比べ、薬の吸収が低下します。また、空腹時に服用すると胃腸症状（悪心、嘔吐など）が出やすくなりますので、できるだけ食後に服用することをおすすめします。なお、脂肪の多い食事をすると、本薬の吸収はよいのですが、そのための特別な食事内容や食べる量を考慮する必要はありません。

Q16.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A16.

多くの場合、発疹は服用開始後7日目から14日目の間に現れます。本剤による発疹は、重症化するケースもあります。発疹を認めた場合は、すみやかに主治医にご相談ください。

Q17.

カレトラソフトカプセル、カレトラリキッドは、冷蔵庫で保存することと書いてありますが、常温ではどの程度もつもののでしょうか。

A17.

持ち歩きに際して、30℃以下の条件で、カレトラソフトカプセルは3ヶ月、カレトラリキッドは6週間程度であれば問題ありません。安定性試験では、両薬とも-15℃から30℃で3日サイクルで2週間保存するとき、安定であることを確認しています。

Q18.

大きくて飲みにくいのですが、なにかいい方法はありませんか。

A18.

カプセルをしばらく口の中に含み、カプセルのまわりが少し溶けてきたところで飲みこむと、のどにひっかからず楽に飲みこむことができます。また、薬を飲む前に水を少し飲むと嚥下（飲み込み運動）の練習になり、薬が飲みこみやすくなるようです。のどに引っかからないように、一度に何個も口に入れず、1つ1つゆっくり飲むようにしてください。

Q19.

健康食品を飲んでいますが。一緒に飲んでもいいのでしょうか。また、市販の薬や健康食品と一緒に飲んではいけない薬があれば教えてください。

A19.

カレトラはSt. John's Wort（セントジョーンズワート：セイヨウオトギリソウ）含有食品との併用に注意することとされています。他の健康食品との相互作用については、医師・薬剤師にご相談下さい。また、本剤は制酸剤との併用により胃のpHが上昇し、本剤の吸収が抑制され、効果が得られにくくなるおそれがあります。制酸作用のある胃薬を飲むときには、本剤服用の1時間前または1時間後に服用してください。

4.6 ATV（一般名：アタザナビル、商品名：レイアタツ）

Q1.

ケースに入れず、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、著しく逸脱した環境でなければ、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。本剤は湿気を避けて保存する事となっていますので、蓋の閉まる瓶などにいれて保存するようにしてください。本剤を入れているポリ瓶で、25℃、60%相対湿度で保存したとき、2年間安定であったとするデータがあります。また、ポリ瓶を開封し、40℃、75%相対湿度下で26週間保存後、変化を認めなかったとする報告があります。

Q2.

カプセルをはずして飲んでも良いでしょうか？

A2.

カプセルをはずした時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすりめできません。

Q3.

朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

飲み忘れを思い出してもすぐに飲まず、次の食事の時に飲んでください。ただし、その食事から翌日薬を飲む朝食までの時間が6時間あいていないときは飲むのをあきらめ、翌日の朝食から忘れずに飲んでください。ただし、このときに4カプセル（2日分）まとめて飲まず、通常の1日分の2カプセルを飲んでください。

Q4.

2カプセルを1日2回に分け、1回1カプセルずつ飲んでもいいでしょうか？

A4.

くすりの効き目が悪くなる可能性があります。朝食と昼食とにわけずに、かならず1回2カプセルを服用してください。2カプセルを1日2回に分けて服用したデータがないのでおすすりめできません。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

この薬は食後に服用しないと吸収が悪いので「食中若しくは食後服用」としています。一緒に食べてはいけない食べ物は特にありません。飲み物では100%のグレープフルーツジュースが吸収に影響を及ぼすとの報告が類薬にありますので避けてください。ATVでのデータはありません。また、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort）含有健康食品との併用にご注意下さい。その他の健康食品との相互作用については、医師・薬剤師にご相談下さい。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶と一緒に飲んでいただいてもかまいません。飲み物として、100%のグレープフルーツジュースは、類薬で吸収に影響があるとの報告がありますので避けて下さい。

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分がもどったら、服用する努力をして下さい。但し、次の服薬が近い場合は、次の服薬より通常どおり服用して下さい。場合によっては、制吐作用のある薬剤の併用も可能です。主治医にご相談下さい。

Q8.

食後薬を飲んだ後のお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A8.

詳しいデータはありませんが、特に影響はないと考えられます。

Q9.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A9.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性があります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。

Q10.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A10.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

Q11.

健康食品を飲んでいますが。一緒に飲んでもいいのでしょうか。また、市販の薬や健康食品と一緒に飲んではいけない薬があれば教えてください。

A11.

ATVはSt. John's Wort（セントジョーンズワート：セイヨウオトギリソウ）含有食品との併用に注意することとされています。他の健康食品との相互作用については、医師・薬剤師にご相談下さい。また、本剤は次の市販薬と同時に併用することによって、本剤と併用薬中の成分の一部が結合して、本剤の吸収が低下する可能性があります。同時に服用することは避けてください。同時服用を避ける薬剤は次の通りです。アルミニウム又はマグネシウム含有制酸剤を含む胃薬、鉄剤、カルシウム含有製剤。これらの薬を飲むときには、本剤服用の1時間前または1時間後に服用してください。

医師が処方する薬の中にも市販薬と同様に併用に注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q12.

友人に白目が黄色くなってきたと言われました。大丈夫でしょうか。

A12.

ATV服用開始後、黄疸が発現することがあります。早めに医師、薬剤師に相談してください。

4.7 FPV（一般名：ホスアンプレナビル、商品名：レクシヴァ）

Q1.

ケースに入れず、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、通常の保存条件であれば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。

製剤の光に対する安定性試験（200w・h/m²の紫外線照射及び120万lux・hの白色蛍光灯照射の条件）では、変化は認められておりません。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いでしょうか？

A2.

本品の粉碎品を加湿条件（30℃/75%RH、1ヵ月）で保存したところ、含量等の変化は認められませんでした。7日後に水分が増加し、一部に塊が認められたとするデータがあります。粉碎品は高温・多湿下での保存を避けて下さい。

Q3.

朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

指示された時間に飲むのを忘れたら、気づいた時点ですぐに1回分をお飲み下さい。ただし次に飲む時間が近い場合は飲まないで、その後は指示された時間から飲んで下さい。

Q4.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A4.

食事の影響はほとんどないと考えられます。とくに避けるべき食べ物について現在のところ情報はありますが、作用が同じ類薬で100%のグレープフルーツジュースとの併用が吸収に影響するとの報告があります。よって、100%のグレープフルーツジュースと一緒に飲まないほうが望ましいと考えられます。

Q5.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければならない飲み物を教えてください。

A5.

お茶と一緒に飲んでもいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯

で服用して下さい。また、摂取をひかえた方が良い飲み物は、現在のところ特に報告がありませんが、100%のグレープフルーツジュースと一緒に飲まないほうが望ましいと考えられます。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q6.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか？

A6.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてみてください。

Q7.

食後薬を飲んだ後のお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A7.

特に問題はないと思われます。

Q8.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A8.

発疹の多くは、通常本剤の投与を中止しなくても自然に消失します。しかし、重度または生命に危険を及ぼすような皮膚障害が現れる場合もあり、この場合は薬の服用を直ちに中止し適切な処置を行う必要があります。発疹が現れた場合は、すみやかに担当医師に連絡して下さい。

なお、本剤を含んだ海外の臨床試験の結果では、約4%の患者さんに発疹が見られたとするデータがあります。

Q9.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A9.

現在のところ、本剤とアルコールの直接の相互作用は知られていませんが、服薬前後の飲酒は原則として避けて下さい。

Q10.

健康食品を飲んでいますが、一緒に飲んでもいいのでしょうか。また、市販の薬や健康食品と一緒に飲んではいけない薬があれば教えてください。

A10.

セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品との併用に注意して下さい。その他の健康食品については、医師・薬剤師にご相談下さい。また、ピル（経口避妊薬）と併用する場合は、ピルの有効性が変化する可能性があるために、別の避妊法を行うことが望ましいとされています。

5 抗生物質・抗菌剤・抗真菌剤

5.1 一般名：アシクロビル、商品名：ゾピラックス等

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果からは、著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。30℃、75%相対湿度の条件下で3ヶ月後に変化なしとのデータがあります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いのでしょうか？

A2.

砕いて服用した時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。本剤には顆粒の製剤もあります。医師・薬剤師にご相談下さい。

有効成分の安定性試験の結果より、ガラス瓶（開栓）保存において、25℃で80%相対湿度の条件下で、60ヶ月後に変化なしとのデータがあります。

Q3.

1日5回で服用するように言われました。どの様に飲めばいいのでしょうか？

A3.

朝食後、昼食後、午後3～4時頃、夕食後、就寝前にお飲み下さい。

Q4.

朝食後の服薬を忘れました。どうすれば良いのでしょうか？

A4.

気がついた時点で1回分を服用してください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

食事の影響は少ないと考えられます。また避けなければならない食べ物や飲み物について、現在のところ特に報告はありません。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶と一緒に飲んでもいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯

で服用して下さい。また、ひかえた方がよい飲み物は、現在のところ特に報告がありません。

(註：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q8.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A8.

特に影響はないと考えられます。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいでしょうか？

A9.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。市販薬の中では胃薬として使用されている、シメチジンとの併用に注意することとされています。医師・薬剤師にご相談下さい。

また、医師が処方する薬でプロベネシド、シメチジン、ミコフェノール酸モフェチル、テオフィリンとの併用には注意することとされています。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。過去に塩酸バラシクロビル（商品名：バルトレックス）による発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.2 一般名：アジスロマイシン水和物、商品名：ジスロマック

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。25℃、85%相対湿度、暗所の条件下で6ヶ月保存後、変化がなかったとするデータがあります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでもよいのでしょうか？

A2.

主薬が苦みを有するためフィルムコート錠にしています。砕いて飲むと苦みを感じることがあり、また砕いて服用した時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。薬剤はその剤形で有効性、安全性が検討されています。形を変えると、効果が出なかったり、予期しない副作用が発現することがありますので患者さん本人の判断で錠剤を砕いたりすることは避けてください。

有効成分の安定性試験の結果より、25℃、85%相対湿度、暗所の条件下で3ヶ月保存後、変化がなかったとするデータがあります。

Q3.

1日1回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

気がついた時点で、忘れた1回分を服用してください。まる1日服用を忘れたからといって、翌日、1度に2日分を服用しないで下さい。

Q4.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A4.

食事の影響はありません。また避けなければならない食べ物や飲み物について、現在のところ特に報告はありません。

Q5.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A5.

錠剤に関しては、お茶と一緒に飲むことを控えるべきとのデータはありません。小児用細粒は、主薬の苦味を防ぐために、細粒にコーティングが施してあります。酸性飲料（オレンジジュース、乳酸菌飲料、スポーツ飲料等）で小児用細粒を服薬した場合、コーティングが溶けて、苦味を感じる可能性があります。水または牛乳等の中性の飲料で服用してください。

（注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。）

Q6.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A6.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q7.

食後薬を飲んだ後にお菓子等をたべても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A7.

特に影響はないと考えられます。

Q8.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A8.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。しかし、水酸化マグネシウムや水酸化アルミニウム等を含有する制酸剤との併用で、本剤の吸収が低下する可能性があります。

また、医師が処方する薬の中には、併用に注意することとされている薬剤（ワルファリン、シクロスポリン、テルフェナジン、アステミゾール、テオフィリン、ミダゾラム、トリアゾラム、カルバマゼピン、ヘキサバルビタール、フェニトイン、エルゴタミン含有製剤、ジゴキシン、水酸化マグネシウムや水酸化アルミニウム等を含有する制酸剤等）があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q9.

発疹がでました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A9.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がありますが。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。本剤はマクロライド系の抗生物質です。過去にマクロライド系の抗生物質で発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q10.

薬を飲んだ後、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A10.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

Q11.

1日1回、2錠を服用しています。1日2回、1回1錠を朝夕食後に分けて飲んでもいいのでしょうか？

A11.

特に問題はないと思われませんが、1日2回に分けて服用した時の体内動態、臨床効果および安全性を検討した報告はありません。1日1回、1回2錠を服用した時と同等の臨床効果が得られるどうかは不明です。

Q12.

ジスロマックの服用はなぜ3日間だけでいいのですか？

A12.

外国の臨床試験の成績から、本剤500mg（2錠）を1日1回3日間経口投与することにより、感受性菌に対して有効な組織内濃度が7日間持続することが予測されているのためです。つまり、本剤は3日間だけ飲んで、効果が7日間続くお薬です。

Q13.

私はジスロマックを長期間服用しています。なぜ3日間だけではいけないのでしょうか？

A13.

急性感染症の場合の飲み方は、250mg錠を1回2錠、1日1回、3日間の服用ですが、HIV感染症における播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症の発症抑制及び治療に、長期使用する場合があります。使う薬剤も1錠600mgの錠剤を使用し、急性感染症とは異なっています。

発症抑制には1回2錠（1200mg）を週に1度服用。また、治療量は1日1回、1回1錠（600mg）とされています。

5.3 一般名：アモキシシリン、商品名：サワシリン、パセトシン等

Q1.

PTPシートから出して、カプセルのまま1週間部屋においてありました。飲んで大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、著しく逸脱した環境でなければ、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。

本品をシャーレ（開放）上、室内散光（約900ルクス）の条件下で、3ヶ月保存後、ほとんど変化を認めず安定。30℃・90%相対湿度下で6ヶ月保存後、外観（内容物）がわずかに黄色を増し、水分がわずかに増加する以外ほとんど変化を認めなかったとする報告があります。

Q2.

カプセルをはずして飲んで良いのでしょうか？

A2.

原薬を30℃・82%相対湿度下で3ヶ月無色透明ガラス瓶に開栓状態で保存し、ほとんど変化を認めなかったとする報告がありますが、薬剤はその剤型で有効性や安全性が検討されています。カプセルを外して中身を出すなどして形を変えると、効果が出なかったり、予期しない副作用が発現することがありますので、患者さん本人の判断でカプセルを外したりすることはおやめ下さい。また、本剤は細粒の製剤もあります。医師・薬剤師にご相談下さい。

Q3.

1日3回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

気がついた時にできるだけ早く1回分を飲んで下さい。ただし、次に通常飲む時間が近い場合は1回とばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んで下さい。

Q4.

1日2回、朝夕飲んでいますが、夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいのでしょうか？

A4.

その日の夕方は服用しないで下さい。翌日からはこれまでどおり、指示された時間に服用して下さい。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

食事による影響はほとんどないと考えられます。特に避けるべき食べ物についての情報はありません。1974年発売以降、食事との関連では特に問題になってません。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければならない飲み物を教えてください。

A6.

特にありません。

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分がもどいたら、服用する努力をして下さい。多めの水で服用すると、吐き気が軽くなることがあります。試してみてください。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q8.

食後薬を飲んだ後にお菓子を食べても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A8.

特に問題はありません。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A9.

現在のところ市販薬との間に、特に相互作用の報告はありませんが、普段と何か違う症状が現れたら、医師・薬剤師にご相談下さい。

また、市販薬ではありませんが、医師が処方する薬の中で、ワルファリンカリウムや経口避妊薬と本剤との併用は注意することとされています。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

服用を開始して発疹が出現した場合は、すみやかに主治医に連絡して下さい。

重篤で生命に危険を及ぼすような発疹が出現する可能性もあります。発熱、頭痛、全身がだるいなど全身症状を伴うような発疹の場合は、特に注意が必要です。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。本剤はペニシリン系の抗生物質です。過去にペニシリン系の抗生物質で発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.4 一般名：イソニアジド、商品名：イスコチン、ヒドラ等

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。本品をシャーレ(開放)上、25℃・75%相対湿度下で3ヶ月保存後、変化を認めなかったとするデータがあります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いのでしょうか？

A2.

イスコチン(末)原薬をシャーレ(開放)上、25℃・75%相対湿度下で30日間放置し、変化を認めなかったとする報告がありますが、薬剤はその剤型で有効性や安全性が検討されています。錠剤が飲みにくい時は、半分に割って飲むことも可能です。本剤は粉末の製剤もあります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q3.

1日3回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

気がついた時点で1回分を服用してください。ただし次の服用時間が近い場合には、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q4.

1日2回、朝夕で飲んでいますが。夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいのでしょうか？

A4.

その日の夕方の方は服用しないでください。翌日からはこれまでどおり、指示された時間にお飲みください。もしなにか、普段と違う症状が現れた場合は医師・薬剤師にご相談ください。

Q5.

1日1回、朝食後に服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすればいいのでしょうか？

A5.

飲み忘れに気がついたときに、1回分を服用してください。寝る前にその日の朝の分の飲み忘れに気づいたときは、1回分を服用してください。翌朝、通常通り1回分を服用しても、特に問題はありません。

Q6.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A6.

飲み物では、現在のところ、特に問題になるものはありません。

食品ではマグロ、ブリ、ハマチ、サバ等、赤身にヒスチジンを多く含む魚と本剤とを摂取した場合、頭痛、紅斑、嘔吐、そう痒感等のヒスタミン中毒を起こす可能性があります。これら魚の赤身に含まれるヒスチジンは腐敗の過程で、細菌酵素により脱炭酸化を受けて、多量にヒスタミンを産生する可能性があります。本剤のヒスタミン代謝酵素阻害作用により、これらヒスタミンが体内に蓄積することによる問題と考えられています。

また、チーズ等チラミンを多く含む食品と本剤とを摂取した場合、血圧上昇、動悸が現れることがあります。チーズ等に含まれるチラミンは腸壁中に大量に含まれるチラミンオキシダーゼによって不活性化されますが、本剤の酵素阻害作用により、チラミンがそのまま腸から吸収されてノルエピネフリンの遊離を促進し、これらの問題が起こるとされています。

Q7.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A7.

お茶と一緒に飲んでもいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用して下さい。また、ひかえた方がよい飲み物は、現在のところ特に報告がありません。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q8.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A8.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分がもどったら、服用する努力をして下さい。多めの水で服用すると、吐き気が軽くなることがあります。試してみてください。

Q9.

食後薬を飲んだ後のお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A9.

特に問題はないと思われます。

Q10.

市販の風邪薬を買って飲んででもいいでしょうか？

A10.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

医師が処方する薬の中には併用に注意することとされている薬剤（リファンピシン等の他の抗結核薬、ワルファリン、抗てんかん薬、経口糖尿病薬、ジスルフィラム、サイクロセリン、シクロスポリン、イトラコナゾール、血圧降下薬、交感神経興奮薬、副交感神経抑制薬、三環系抗うつ薬等）があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q11.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるでしょうか？

A11.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性があります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

Q12.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A12.

現在のところ、本剤とお酒との直接の相互作用は報告されていませんが、本剤を使用するときは、肝機能障害に注意することとされていますので、おすすめてできません。

Q13.

服用中はどのような副作用に注意すればいいでしょうか？

A13.

肝機能障害が現れることがあるので、気持ちが悪い、吐き気がする等の消化器症状や、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい、発熱等の症状があらわれた場合は、早めに主治医に報告してください。また、四肢の感覚異常、しびれ感等の末梢神経炎が現れることがあります。これらの症状には、ビタミンB6が有効であるとされており、あらかじめ処方されていることもあります。

5.5 一般名：塩酸エタンブトール、商品名：エソブトール、エブトール

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

本剤は湿気を吸い易いのですが、著しく逸脱した環境でないなら、1週間程度の放置で、特に見た目に異常がなければ問題はなりません。製剤の安定性試験からは、40℃、70%相対湿度の条件下で1

ヶ月保存後、外観が極わずかに帯褐色になるというデータがあります。品質の低下を防ぐために、薬剤師の指示する方法（湿度、容器など）で保管して下さい。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いのでしょうか？

A2.

錠剤を砕いて飲んだ場合の有効性、安全性は検討されていません。また、湿気を吸い易いため、保存条件にもよりますが、つぶしたあとのお薬は約1週間で効果が低下し、若干固化したとのデータがあります。さらに粉碎して服用すると苦みを感じる事が予想されます。したがって、つぶしたものを保存しておく、品質が変わってしまう可能性もありますので避けてください。

Q3.

1日2回で服用しています。朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

朝の飲み忘れを昼に気づいた時は、その時点で朝の分を飲んでください。気づいた時間が夕方等、次に飲む時間が近い場合は1回飛ばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んで下さい。その際、2回分を一度に飲まないで下さい。

Q4.

1日2回、朝夕で飲んでいますが。夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすれば良いのでしょうか？

A4.

その日の夕方は服用しないで下さい。翌日からはこれまれどおり、指示された時間に服用して下さい。

Q5.

1日1回朝食後に服用しています。朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いのでしょうか？

A5.

朝の飲み忘れを夕方までに気づいた時は、その時点で朝の分を飲んでください。翌日からはこれまれどおり、指示された時間に服用して下さい。また、気づいた時間が夜の場合は、その日の分は服用せず、翌日からこれまでどおり、指示された時間に服用して下さい。

Q6.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A6.

食事による影響はほとんどないと考えられます。とくに避けるべき食べ物、飲み物について、現在のところ報告はありません。

Q7.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A7.

お茶と一緒に飲んではいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯

で服用して下さい。また、ひかえた方が良い飲み物は、現在のところ特に報告がありません。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水(生水)ではなく、白湯(さゆ)もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q8.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすれば良いのでしょうか？

A8.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分がもどったら、服用する努力をして下さい。また、吐き気が強い時には主治医に相談してください。

Q9.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A9.

特に問題はないと思われます。

Q10.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A10.

現在のところ問題となる報告はありませんが、服用の際は医師・薬剤師にご相談下さい。

Q11.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A11.

この薬の服用をはじめから発疹がでた場合は、この薬による過敏症の可能性があります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

Q12.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A12.

現在のところ問題となる報告はありません。しかし、アルコール中毒症の患者さんの場合は、すでに視神経障害を起こしている可能性があり、本剤による視力障害が増悪されるおそれがあるとされています。

Q13.

服用中はどのような副作用に注意すればいいのでしょうか？

A13.

視力障害が現れることがあります。この副作用は早期に発見することが重要です。定期的に視力検査は行われますが、目がかすむ、ものが見えにくい等の異常を感じたら、早めに主治医に報告してください。新聞を片目ずつ、一定の距離をもって読むことで、早期に発見することも可能です。

5.6 一般名：塩酸シプロフロキサシン、商品名：シプロキサシ

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。40℃、75%相対湿度、褐色ガラス製開放容器の条件下で2ヶ月保存後、吸湿による外観変化（斑点状の盛り上がり）が認められたがその他の項目については変化は認められなかったとするデータがあります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いのでしょうか？

A2.

主薬が苦みを有するためフィルムコート錠にしています。砕いて飲むと苦みを感じることがあり、また砕いて服用した時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。

有効成分の安定性試験の結果より、40℃、75%相対湿度、褐色ガラス製開放容器の条件下で、6ヶ月後に乾燥減量の増加は認められたが、その他の項目については変化は認められなかったとするデータがあります。

Q3.

1日3回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

気がついた時点で1回分を服用してください。ただし次の服用時間が近い場合には、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q4.

1日2回、朝夕で飲んでいますが、夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいのでしょうか？

A4.

その日の夕方は服用しないで下さい。翌日からはこれまでどおり、指示された時間に服用して下さい。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

牛乳やヨーグルト等の乳製品と同時に服用すると、本剤と牛乳中のカルシウムと結合して、本剤の吸収が低下する可能性があります。同時に服用することは避けてください。その他、食事に対する影響は少ないと考えられます。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶と一緒に飲んではいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用して下さい。また、ひかえた方が良い飲み物は、乳製品を含む飲み物以外、現在のところ特に報告はありません。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q8.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A8.

影響は少ないと考えられます。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A9.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。しかし、次の市販薬と同時に併用することによって、本剤と併用薬中の成分の一部が結合して、本剤の吸収が低下する可能性があります。同時に服用することは避けてください。同時服用を避ける薬剤は次の通りです。アルミニウム又はマグネシウム含有制酸剤を含む胃薬。鉄剤。カルシウム含有製剤。

医師が処方する薬の中には併用してはならない薬剤（ケトプロフェン含有製剤）や、併用に注意することとされている薬剤（テオフィリン、アミノフィリン、非ステロイド性消炎鎮痛剤、シクロスポリン、ワルファリン、グリベンクラミド、アルミニウム又はマグネシウム含有制酸剤、鉄剤、カルシウム含有製剤等）があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性があります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。